

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年6月4日

【四半期会計期間】 第32期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

【英訳名】 Harmonic Drive Systems Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 長 井 啓

【本店の所在の場所】 東京都品川区南大井六丁目25番3号

【電話番号】 03-5471-7810

【事務連絡者氏名】 取締役 丸 山 顕

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区南大井六丁目25番3号

【電話番号】 03-5471-7810

【事務連絡者氏名】 取締役 丸 山 顕

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、2021年3月期決算の作業過程におきまして、2017年3月期に子会社化したドイツのハーモニック・ドライブ・エスイーとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しに関する会計処理に誤りが生じていることが判明いたしましたので、過去に提出した有価証券報告書等に記載されている連結財務諸表及び四半期連結財務諸表に含まれる一連の誤謬を訂正することといたしました。

これらの決算訂正により、当社が2019年11月13日に提出いたしました第32期第2四半期（自 2019年7月1日至 2019年9月30日）に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、PwCあらた有限責任監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) 財政状態の分析

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、上記の訂正事項については、訂正後のみを記載しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第31期 第2四半期 連結累計期間	第32期 第2四半期 連結累計期間	第31期
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(千円)	34,474,045	21,577,424	67,809,268
経常利益	(千円)	9,196,644	1,481,144	17,185,194
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	(千円)	5,766,875	148,373	11,322,541
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	3,556,317	1,626,161	7,673,132
純資産額	(千円)	111,030,665	110,647,688	113,277,932
総資産額	(千円)	141,282,604	139,186,799	142,872,657
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	59.91	1.54	117.62
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	71.6	72.3	72.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	3,555,251	8,756,611	15,121,877
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	8,415,723	9,638,469	22,399,586
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,126,850	3,522,379	3,271,142
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	22,164,549	20,190,875	17,600,386

回次		第31期 第2四半期 連結会計期間	第32期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額()	(円)	28.82	1.74

- (注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、事業に携わる主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）における当社グループの事業環境は、半導体市場全般の投資先送りに加え、米中貿易摩擦の長期化を背景とした先行き不透明感が増し、世界的に設備投資に慎重な姿勢が強まったことから、総じて厳しい状況となりました。

用途別の売上高につきましては、前年同期比で、自動車やスマートフォン、家電などの生産自動化に使用される産業用ロボット向けが減少したことに加え、半導体製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなど主要用途全般が減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比37.4%減少の215億77百万円となりました。

損益面につきましては、このような厳しい事業環境を乗り越えるため、設備投資の一部凍結、固定費の削減、徹底した経費管理による一般管理費の削減に取り組んでまいりましたが、売上高の減少による影響を吸収するには至らず、営業利益は前年同期比85.7%減少の12億51百万円となりました。また、主に営業利益の減益に伴い、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期比97.4%減少の1億48百万円となりました。

なお、製品群別の売上高は、減速装置が前年同期比43.7%減少の163億34百万円、メカトロニクス製品が同4.4%減少の52億42百万円で、売上高比率はそれぞれ、75.7%、24.3%となりました。

報告セグメントの業績は、以下のとおりであります。

（日本）

産業用ロボット向けをはじめ、半導体製造装置向け、モーターメーカー向けギアヘッドなどの主要用途全般が減少し、売上高は前年同期比54.4%減少の106億67百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は前年同期比79.8%減少の18億31百万円となりました。

（北米）

医療機器向け、サービスロボット向けを中心に需要が増加したことにより、売上高は前年同期比12.3%増加の35億99百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、販売費及び一般管理費は増加したものの、売上高の増加による増益効果が上回り、前年同期比38.4%増加の8億31百万円となりました。

（欧州）

主に産業用ロボット向けの需要が減少したことなどから、売上高は前年同期比7.1%減少の73億11百万円となりました。また、セグメント利益（経常利益）は前年同期比93.4%減少の53百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比で36億85百万円減少（前連結会計年度末比2.6%減）し、1,391億86百万円となりました。これは、会計基準の変更に伴い海外子会社のリース資産をオンバランスした影響等により、有形固定資産が57億49百万円増加（前連結会計年度末比14.1%増）した一方で、売上高の減少により、受取手形及び売掛金が85億17百万円減少（前連結会計年度末比49.0%減）したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べて10億55百万円減少（前連結会計年度末比3.6%減）し、285億39百万円となりました。これは、長期借入金が増加（前連結会計年度末比272.5%増）した一方で、その他流動負債が44億6百万円減少（前連結会計年度末比60.5%減）したことに加え、未払法人税等が20億93百万円減少（前連結会計年度末比86.7%減）したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末比で26億30百万円減少（前連結会計年度末比2.3%減）し、1,106億47百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が16億92百万円減少（前連結会計年度末は7億68百万円）したことに加え、期末配当を実施したことにより、利益剰余金が16億80百万円減少（前連結会計年度末比2.8%減）したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の72.5%から72.3%になりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて25億90百万円増加し、201億90百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による収入は87億56百万円となりました。（前年同期は35億55百万円の収入）

これは、法人税等の支払いによる支出が29億24百万円あったものの、売上債権の減少による収入を83億92百万円、減価償却費を33億13百万円計上したことが主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による支出は96億38百万円となりました。（前年同期は84億15百万円の支出）

これは、有形固定資産の取得による支出が95億63百万円あったことが主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による収入は35億22百万円となりました。（前年同期は11億26百万円の支出）

これは、配当金の支払いが18億28百万円あったものの、長期借入れによる収入が50億円あったことが主な要因です。

(4) 事業及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は11億66百万円であります。

(6) 主要な設備

新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第2四半期連結累計期間に著しい変動があった設備は、次のとおりであります。

(新設)

有明工場

前連結会計年度末に計画していた有明工場を2019年9月に新設いたしました。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	356,400,000
計	356,400,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	96,315,400	96,315,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	96,315,400	96,315,400		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		96,315,400		7,100,036		9,697,431

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住 所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社KODENホールディングス	東京都大田区多摩川2丁目13-24	33,490,700	34.79
ナブテスコ株式会社	東京都千代田区平河町2丁目7-9号	18,320,400	19.03
トヨタ自動車株式会社 (資産管理サービス信託銀行株式会社)	愛知県豊田市トヨタ町1番地 (東京都中央区晴海1丁目8-12)	4,379,400	4.54
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (香港上海銀行東京支店 カस्ट ディ業務部)	ONE LINCOLN STREET, BOSTON MA USA 02111 (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	4,143,360	4.30
伊藤 典光	東京都港区	2,841,600	2.95
管理信託(A030)受託者 株式 会社SMBC信託銀行	東京都港区西新橋1丁目3-1	1,856,800	1.92
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	1,711,000	1.77
CTL-NAN SHAN LIFE INSURANCE CO., LIMITED (シティバンク、エヌ・エイ東京 支店)	NO. 168 ZHUANG JING RD., TAIPEI, TAIWAN, R. O. C. (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	1,191,300	1.23
チエース ノミニーズ リジ ヤスデック トリーティー ク ライアント アカウント ジエ ネラル (株式会社三菱UFJ銀行)	CHASESIDE, BOURNEMOUTH, DORSET. BH77DB UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	1,164,800	1.21
伊藤 光昌	東京都港区	1,067,800	1.10
計		70,167,160	72.89

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 52,200		権利内容に何ら限定のない当社における基準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 96,252,400	962,524	同上
単元未満株式	普通株式 10,800		
発行済株式総数	96,315,400		
総株主の議決権		962,524	

(注) 証券保管振替機構名義の株式はありません。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ハーモニック・ド ライブ・システムズ	東京都品川区南大井六丁目 25番3号	52,200		52,200	0.05
計		52,200		52,200	0.05

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年 3月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2019年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,805,569	21,441,358
受取手形及び売掛金	17,384,070	8,866,296
有価証券	16,506	16,197
商品及び製品	1,856,807	1,905,883
仕掛品	2,256,097	1,772,168
原材料及び貯蔵品	3,258,082	3,226,280
その他	1,321,036	1,423,660
貸倒引当金	12,525	21,845
流動資産合計	44,885,646	38,630,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,170,045	19,197,900
機械装置及び運搬具（純額）	17,300,831	16,750,011
その他（純額）	11,382,060	10,654,114
有形固定資産合計	40,852,936	46,602,026
無形固定資産		
のれん	16,768,935	15,447,138
ソフトウェア	477,910	422,501
顧客関係資産	21,419,711	19,731,321
技術資産	5,720,891	5,269,947
その他	28,398	25,240
無形固定資産合計	44,415,846	40,896,149
投資その他の資産		
投資有価証券	536,878	569,783
関係会社株式	10,708,217	11,077,578
退職給付に係る資産	1,074,157	1,096,242
繰延税金資産	229,820	164,322
その他	174,754	156,296
貸倒引当金	5,600	5,600
投資その他の資産合計	12,718,227	13,058,623
固定資産合計	97,987,011	100,556,798
資産合計	142,872,657	139,186,799

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,513,122	2,655,854
短期借入金	25,544	37,116
1年内返済予定の長期借入金	352,705	450,991
リース債務	52,932	235,961
未払法人税等	2,414,836	320,888
賞与引当金	1,604,470	631,786
役員賞与引当金	518,247	61,341
製品補償損失引当金	179,233	56,547
その他	7,283,448	2,876,716
流動負債合計	15,944,541	7,327,203
固定負債		
長期借入金	1,726,001	6,429,400
リース債務	154,801	2,806,136
繰延税金負債	10,228,500	10,411,989
役員退職慰労引当金	462,345	485,953
その他の引当金	104,613	115,812
退職給付に係る負債	829,641	808,749
その他	144,280	153,865
固定負債合計	13,650,183	21,211,906
負債合計	29,594,724	28,539,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,100,036	7,100,036
資本剰余金	30,225,361	30,225,361
利益剰余金	59,792,408	58,111,781
自己株式	38,280	38,280
株主資本合計	97,079,525	95,398,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,800,311	6,095,481
為替換算調整勘定	768,540	923,988
退職給付に係る調整累計額	4,089	5,237
その他の包括利益累計額合計	6,564,763	5,176,731
新株予約権	625,511	625,511
非支配株主持分	9,008,132	9,446,547
純資産合計	113,277,932	110,647,688
負債純資産合計	142,872,657	139,186,799

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	34,474,045	21,577,424
売上原価	18,818,602	14,165,102
売上総利益	15,655,442	7,412,322
販売費及び一般管理費	1 6,882,348	1 6,160,723
営業利益	8,773,094	1,251,598
営業外収益		
受取利息	10,577	19,325
受取配当金	119,132	119,276
持分法による投資利益	4,965	-
為替差益	164,317	-
補助金収入	19,333	21,887
その他	154,580	225,270
営業外収益合計	472,907	385,760
営業外費用		
支払利息	6,985	48,014
売上割引	16,605	24,457
有価証券評価損	16,660	-
持分法による投資損失	-	22,438
為替差損	-	27,776
その他	9,106	33,526
営業外費用合計	49,357	156,214
経常利益	9,196,644	1,481,144
特別利益		
固定資産売却益	17,483	10,544
補助金収入	160,410	60,410
特別利益合計	177,893	70,954
特別損失		
固定資産売却損	62,273	517
固定資産除却損	17,224	9,734
固定資産圧縮損	160,410	60,410
特別退職金	-	14,517
特別損失合計	239,907	85,180
税金等調整前四半期純利益	9,134,630	1,466,918
法人税、住民税及び事業税	3,095,547	425,015
法人税等調整額	219,444	574,278
法人税等合計	2,876,103	999,293
四半期純利益	6,258,526	467,624
非支配株主に帰属する四半期純利益	491,651	319,251
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,766,875	148,373

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	6,258,526	467,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,522,553	295,170
為替換算調整勘定	197,053	2,400,570
退職給付に係る調整額	17,398	11,613
その他の包括利益合計	2,702,208	2,093,786
四半期包括利益	3,556,317	1,626,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,126,691	1,239,659
非支配株主に係る四半期包括利益	429,625	386,502

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,134,630	1,466,918
減価償却費	2,440,204	3,313,336
のれん償却額	485,586	454,061
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,805	9,934
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	28,576	15,828
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	40,282	23,607
執行役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,891	11,198
役員賞与引当金の増減額(は減少)	148,728	453,447
製品補償損失引当金の増減額(は減少)	21,702	121,942
受取利息	10,577	19,325
受取配当金	119,132	119,276
支払利息	6,985	48,014
持分法による投資損益(は益)	4,965	22,438
補助金収入	160,410	60,410
固定資産売却損益(は益)	44,789	10,026
固定資産除却損	17,224	9,734
固定資産圧縮損	160,410	60,410
売上債権の増減額(は増加)	3,839,443	8,392,107
たな卸資産の増減額(は増加)	1,143,499	301,481
仕入債務の増減額(は減少)	611,221	787,186
その他	667,985	936,691
小計	6,800,010	11,589,110
利息及び配当金の受取額	129,659	138,561
補助金の受取額	160,410	60,410
利息の支払額	6,238	45,317
法人税等の支払額	3,714,296	2,986,565
法人税等の還付額	185,705	412
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,555,251	8,756,611
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	8,373,575	9,563,152
有形固定資産の売却による収入	315,647	11,907
無形固定資産の取得による支出	120,425	21,929
定期預金の預入による支出	232,529	75,734
敷金及び保証金の差入による支出	9,351	3,239
敷金及び保証金の回収による収入	3,222	13,508
短期貸付金の回収による収入	1,128	-
その他	160	169
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,415,723	9,638,469

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	432,684	42,432
短期借入金の返済による支出	80,842	30,298
長期借入れによる収入	180,176	5,000,000
長期借入金の返済による支出	185,186	198,315
リース債務の返済による支出	26,539	121,879
配当金の支払額	1,346,486	1,828,132
非支配株主からの払込みによる収入	-	780,978
非支配株主への配当金の支払額	100,656	122,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,126,850	3,522,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	168,935	50,031
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	6,156,258	2,590,489
現金及び現金同等物の期首残高	28,320,807	17,600,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 22,164,549	1 20,190,875

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社においては、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号(リース)を適用しています。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

当該会計基準の適用の結果、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において、有形固定資産のその他に2,825百万円、流動負債の部にリース債務182百万円、固定負債の部にリース債務2,677百万円が計上されております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益における影響額は軽微であります。

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目と金額は次の通りであります。

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
給与手当	1,194,919	1,283,874
賞与引当金繰入額	455,394	225,367
役員賞与引当金繰入額	264,426	2,999
退職給付費用	56,408	51,805
役員退職慰労引当金繰入額	54,667	38,476
執行役員退職慰労引当金繰入額	1,891	26,732
研究開発費	1,181,650	1,155,659

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	23,501,848	21,441,358
短期有価証券 (3ヶ月以内満期)	22,609	16,197
預入期間が3ヶ月超の定期預金	1,359,908	1,266,680
現金及び現金同等物	22,164,549	20,190,875

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月21日 定時株主総会	普通株式	1,347,684	14	2018年3月31日	2018年6月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月8日 取締役会	普通株式	1,829,000	19	2018年9月30日	2018年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	1,829,000	19	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月12日 取締役会	普通株式	962,631	10	2019年9月30日	2019年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,399,378	3,205,413	7,869,253	34,474,045	-	34,474,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,548,376	22,218	181,697	2,752,292	2,752,292	-
計	25,947,754	3,227,632	8,050,951	37,226,338	2,752,292	34,474,045
セグメント利益	9,077,398	600,974	812,322	10,490,695	1,294,051	9,196,644

- (注) 1. セグメント利益の調整額 1,294,051千円には、セグメント間取引消去 412,512千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 881,538千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	北米	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,667,304	3,599,029	7,311,090	21,577,424	-	21,577,424
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,551,327	11,867	98,952	1,662,147	1,662,147	-
計	12,218,631	3,610,897	7,410,043	23,239,571	1,662,147	21,577,424
セグメント利益	1,831,609	831,567	53,683	2,716,860	1,235,716	1,481,144

- (注) 1. セグメント利益の調整額 1,235,716千円には、セグメント間取引消去 303,544千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 932,171千円が含まれております。全社費用は、基礎的試験研究費、当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. 「日本」には、日本国内向けのほか、欧州、アジア地域向け等に係る売上高及び費用が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	59円91銭	1円54銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	5,766,875	148,373
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	5,766,875	148,373
普通株式の期中平均株式数(株)	96,263,207	96,263,175

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第32期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)中間配当について、2019年11月12日開催の取締役会において、2019年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	962,631千円
1株当たりの金額	10円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年12月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年6月4日

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 千葉 達 哉
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して2019年11月13日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。